2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	放射線診断学特論Ⅰ・Ⅲ	玉田 勉

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

研究成果に影響を与える画像評価を適切に行うために，典型的，教育的症例あるいは診断が困難であった症例の画像所見を適切に読み取り，鑑別診断を含めた合理的な画像診断手順を習得する。

授業到達目標

（1）Powerpoint を用いたプレゼンテーションの準備が適切にできる。
（2）症例の現病歴，既往歴，家族歴を含む患者背景と臨床検査所見について適切に説明できる。
（3）症例の画像所見を理解し，適切な鑑別診断を挙げることができる。
（4）画像所見や検査所見を総合した合理的な過程を経て最終診断に至ることができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	木	17:00-18:00	神吉 昭彦 檜垣 篤 八十川 和哉	講義	[症例検討会]	肝胆膵カンファレンス（肝胆膵内科，消化器外科，病院病理部） [場所:14 階中病棟カンファレンス室]
2	毎週	金	8:30-9:30	玉田 勉 山本 亮 林田 稔 神吉 昭彦 檜垣 篤 八十川 和哉 中村 博貴	講義	[症例検討会]	教育的あるいは興味深い症例，診断が困難であった症例について，画像所見を中心に鑑別診断を含めた検討会形式の症例発表を行う。 [場所:画像診断センター1 階読影室]
3	月 1 回	第 3 月	18:00-19:00	玉田 勉 山本 亮 檜垣 篤	講義	[症例検討会]	泌尿器病理放射線科カンファレンス（泌尿器科，病院病理部） [場所:10 階西病棟カンファレンス室]
4	毎週	火	16:30-17:30	玉田 勉 山本 亮 檜垣 篤 中村 博貴	講義	[症例検討会]	泌尿器画像カンファレンス（泌尿器科） [場所:画像診断センター2 階読影室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※1～3年生は 2 月末まで，4年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9781496360694, Radiology Review Manual（8th ed.）, W.Dahnert, WOLTERS KLUWER, 2017

参考書

ISBN-9784780908497, よくわかる脳 MRI（第 3 版）, 青木　茂樹　他, 学研プラス, 2012
ISBN-9784895926743, 知っておきたい泌尿器の CT・MRI（改訂第 2 版）, 村山下　康行, 秀潤社, 2019
ISBN-9784780908169, 肝胆膵の画像診断-CT・MRI を中心に-, 山下　康行, 学研メディカル秀潤社, 2010
ISBN-9784758316170, 泌尿器領域画像診断の勘ドコロ NEO, 玉田勉編集代表, メジカルビュー社, 2021

準備学習（予習・復習等）

（1）予習：各カンファレンスの症例について画像所見と鑑別診断をノートにまとめておく。30 分程度。
（2）復習：各カンファレンスで指摘された点に関する文献などを読み要約する。1 時間程度。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

教育的あるいは診断が困難であった症例の画像所見を通して，病態の考え方を修得する。

注意事項・メッセージ

画像所見から病態を考える習慣を身につけてください。